

☆☆☆ 矢羽根とは何ぞや ☆☆☆

- 矢羽根とは、公道の路肩の道路位置を示す為の道路標識のひとつで正式には「固定式視線誘導柱」(国土交通省)と云う。
- 目的は、夜間や悪天候の時(特に吹雪時に威力)、矢羽根に取り付けた発光ダイオード(高輝度LED)を点滅させ道路端部を示し、運転者の安全走行を助けるのが目的である。
- また、道路管理者の冬季維持作業(除雪)に対しての路肩位置を示す

矢羽根の設置場所

- 主に、積雪の多い北海道の道路(国道・道道)に設置される 特に 民家の少ない平原・山岳地帯・カーブの多い所に優先的に設置され、道路端部に高さ約 7m の逆L型ポールに設置されている。
- 矢羽根の設置間隔は約80m、エネルギーはソーラー式自立型電源が主流で、フリーメンテナンスを基本としたシステムです。

矢羽根の構造

- 形状は矢羽に似た形、概略寸法は 幅350×長さ1200×厚さ50mm
- ソーラー式自立型電源方式、超高輝度LEDを縦型に配列した自発光タイプ。

- 発光 ⇒ 0.5秒ON/OFF間隔で衛星電波受信(GPS)にて規則的サイクル。
- 発電 ⇒ 太陽光発電方式を採用、日中に充電したエネルギーを夜間使用。
- 蓄電 ⇒ マイナス40℃の極低温でも使用可能な性能と高寿命型バッテリー。
- 動作 ⇒ 連続7日間の不日照でも機能を保持する必要がある、徹底した

矢羽根開発技術の特殊性

- 省エネ設計 ⇒ 連続7日間の不日照に於いても機能を保持する必要があるから徹底した省エネ動作、高効率の充電等省エネ設計技術。
- 機器寿命 ⇒ 道路標識扱の為、メンテナンスフリーにて昼夜連続運転で動作。寿命10年間稼働の為に、高信頼性設計技術。
- 気候検知 ⇒ 日中での視界不良時(吹雪・雨)の状態を選別検知させ



矢羽根の拡大

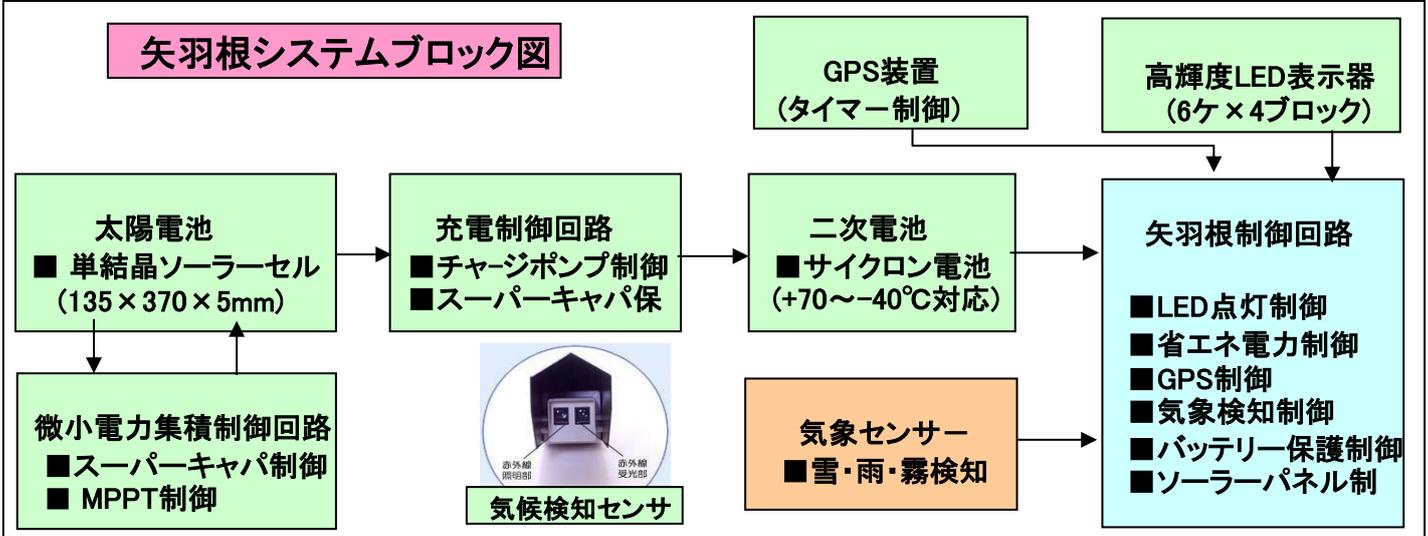


夏の国道と矢羽



冬の国道と矢羽根

矢羽根システムブロック図



製造元

ATOM 株式会社アトム技研

〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬9 2-2

TEL. 0466-23-5790 FAX. 0466-23-7393

新製品の製品情報をホームページで提供しています。

URL <http://www.atom-gkn.co.jp>